

## 『学び・ナビ』

発行責任者  
校長：有賀 真道  
学習担当：川野 邊勝也

## 進路実現に備えて～その3～



今回は県立高校の入試に関する情報を提供していきたいと思います。県立高校入試の概要を以下にまとめます。(今日、明日と平成29年度県立Ⅱ期選抜が行われています。)

## Ⅰ 全日制・定時制

	ねらい・特徴	出 願	選抜方法・資料
Ⅰ期選抜	<ul style="list-style-type: none"> <li>各高校の特色に応じて受験生が主体的に高校を選択し出願できる選抜。</li> <li>各高校は受験生の個性や学ぶ意欲を重視し特色ある選抜を実施。</li> <li>募集定員の10～40%の範囲で設定。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各高校は「志願してほしい生徒」と選抜方法を明示。</li> <li>自ら志願する動機・理由が明白かつ適切である者が出願できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>志願理由書</li> <li>調査書</li> <li>面接(学校・学科によっては、学習に関する問題を含む)</li> <li>学校・学科により小論文(作文)、実技等も実施。</li> </ul>
Ⅱ期選抜	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学校における学習活動の成果を総合的にみる選抜。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Ⅰ期選抜合格内定者は出願できない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査書</li> <li>学力検査</li> <li>学校・学科により面接も実施。</li> </ul>
Ⅲ期選抜	<ul style="list-style-type: none"> <li>受験生の学ぶ意欲や高校で学ぶ機会を保障することを重視した選抜。</li> <li>Ⅰ期・Ⅱ期選抜で定員を充足しない学校・学科で実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Ⅰ期・Ⅱ期選抜受験の有無にかかわらず出願できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査書</li> <li>面接</li> <li>小論文(作文)</li> </ul>

## Ⅱ 通信制(郡山萌世：普通科)

	ねらい・特徴	出 願	選抜方法・資料
通信制	<ul style="list-style-type: none"> <li>自学自習を柱とする学習活動を行う。</li> <li>単位を認定されるためにはレポートの提出、スクーリングの出席、テストに合格することが必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2月中旬～3月上旬</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査書等</li> <li>学力検査は実施しない。</li> </ul>

この制度は現在、以下のように見直しが行われています。

- ① Ⅰ期(自己推薦)とⅡ期(学力検査)を「前期選抜」として統合し、両方に学力検査を課す。
- ② Ⅲ期選抜は「後期選抜」として継続する。
- ③ 平成32年度入試(現在小学校6年生が受験する年)から導入される予定。

この見直しの背景には、「学力の底上げ」をしたいという狙いがあるようです。現行の制度では、Ⅰ期の合格内定者が三学期の早い段階で受験勉強を終えてしまうので、学習意欲が低下した状況で高校入学を迎えてしまうという点が指摘されていました。制度を見直していく背景を踏まえた上で、高校入試、高校入学に向けた準備をしていかななくてはなりませんね。平成32年度からだから関係ないでは済まされそうにない問題です。